

質疑並びに一般質問

9月定例会は、6日間にわたり26人の議員が市の政策について提言し、課題や市政運営等について、たどりました。ここでは、その一部をお知らせします。
※この記事は各議員が要約して執筆しています。

各議員の氏名の右にあるQRコードを読み取ると、その議員の議会での録画映像を御視聴になれます(公開期間は4年間)。

柏清風

さくらだしんたろう
桜田慎太郎



千葉北西連絡道路について

Q市内には柏インターチェンジがあり、千葉北西連絡道路の道路計画の基本方針にも常磐自動車道へのアクセス性を考慮することとなっている。本市のさらなる活性化や生産性の向上のためにも千葉北西連絡道路を生かした都市計画、土地利用を促進していただきたいと考えるが、

A地域産業に資する土地利用の促進に寄与する計画とすることと定めていることから、本市としても千葉北西連絡道路の整備を契機に沿線地域の活性化に資するよう、まちづくりにつなげていく。

企業誘致について

Q柏の葉エリアには東葛テクノプラザ、東大柏ベンチャープラザ、東京大学、千葉大学、KOIL、産総研もあり、さらにはつくばエクスプレスが走り、柏イン

ターチェンジがあり、千葉北西連絡道路の道路計画もある。これらの利点を生かした企業誘致を促進していただきたいが、

A市外企業の呼び込みに重要となる産業用地の確保についても柏の葉エリアの地域特性を生かし、さらなる企業誘致を行う観点から、千葉北西連絡道路の件も含め、柏インター周辺の土地利用やまちづくりに関する計画について関係部署と連携しながら検討していく。

北柏駅南北自由通路整備事業(知+について)

Q事業の概要と今後のスケジュールは、

A南口、北口駅前広場に新しくエレベーターやエスカレーターを整備する予定だ。令和5年9月6日に市とJR東日本は南北自由通路の比較設計に関する協定を締結し、今年度末をめどに施工手順の検討や計画案の確認などを進める。

柏清風

ふくもと あい
福元 愛



小中一貫教育(知+)(柏一小、旭東小、柏中)

Q学校をどうつくり9年間でどう育てるかという教育哲学が重要だが、施設整備の充実ありきの検討になっていないか、

A東葛地域で初の試みだ。教育設備の充実と環境づくりが市教委の仕事である。

Q過去に北部や東部地域の通学路の安全対策として要望や議論があったわけで、今般、市中心部でスクールバス運行の検討を進める点を市民にどう説明するのか、

A今後、全市的に導入を検討の予定だ。

Q柏一小の跡地は、今後、柏駅西口の開発問題とも絡んでくるものと考えが、

A市長部局では、まずは市教委での具体的検討の進捗を注視する。

制服・校則の在り方と多様性への配慮

Qブレ標準制服モニター制度(知+)で無償提供を受ける生徒の役割をどう期待するか、

A全国初の取組である。着比べた生徒や保護者のリアルな意見を導入に生かす。

特定健康診査、75歳以上の健康診査

Q西原近隣センター体育館に集団健診会

場を開設したことで、受診機会確保や受診率向上に効果があったと考えるが、

A利用率が年々増加しており、定員や回数等実情に合った検討が必要と考える。

Q集団健診の会場を地域に設定することは市境等の医療不便地域で有効策では、

A西原地域の集団健診会場設置の効果をもとに他地域での新たな集団健診開始についても地域の状況を勘案し検討したい。

老人福祉センターの在り方と多世代交流

Q多世代交流をどう提供する考えか、

A生きがい創出や健康寿命延伸、センターの有効活用にも寄与する重要な視点のため、あらゆる可能性を検討していく。



沼南老人福祉センター「いこい荘」

柏清風

さとう ひろし
佐藤 浩



柏たなか駅周辺郵便局の新設

Q人口急増地区柏たなか駅周辺は地域のインフラ整備が追いついていない状況だが郵便局の新設はできないのか、

A郵便局の新設について、管轄する日本郵便株式会社関東支店に対して、これまでも機会を捉えて要望をしている。直近では本年1月、8月と要望活動や検討状況についてお尋ねをしている。

柏駅南口西側のエレベーター、エスカレーター設置

Q設置要望は市に届いているか、

A柏駅南口から東葛通り、旭町二丁目方面への階段部分にエスカレーター、エレベーターを設置する要請は認識している。バリアフリー基本構想の改定や柏駅西口商業施設の大規模な改修の際に土地所有者の東武鉄道や商業施設所有者と柏駅南口のバリアフリー化について検討していく。

つくばエクスプレスの8両ホーム対応

Q工事計画、工事終了後から供用開始までの課題はどうか、

A令和元年5月に車両8両編成化事業の実施を決定し、ホーム延伸工事は秋葉原

駅から南千住までの4駅と南流山駅が完了、施工中の青井駅、六町駅の工事が今年度末に完了予定である。延伸したホームへのホームドアの設置工事、総合車両基地や機械設備の増強等も必要となる。2030年代前半供用開始と首都圏新都市

株式会社からは聞いている。

柏たなか駅上りエスカレーター

Q工事計画はどうか、

A6年度に西口、7年度に東口に設置予定である。

柏清風

むらこし まこと
村越 誠



農業政策(農業、道の駅しようなん)

Q担い手の減少や耕作放棄地の問題にどのように対応するか。農地法第3条、農地減少を食い止め農地の確保をするか、

A県や農業委員会と連携した取組の強化を図る。地域農業の振興に向けた支援、検討実施に努める。

Q生産者の高齢化、運転免許返納で農産物集配や回収を地域母体にできないか、

A出荷拠点の選定や集荷ルート策定など具体的な検討を進めている。指定管理者と連携し円滑な施設運営に努める。

Q生産者農家の収益を増加させるため株式会社道の駅しようなんが野菜の買取り、加工、販売はできないのか、

A出荷者会と協議、検討を進める。

市民生活(手賀の丘公園、交通政策)

Q手賀の丘公園の今後の管理運営は、

A公園のゾーニング検討を進め、活用と保全のバランスの事業展開を整理する。

Q高柳駅東口の整備の進行状況は、

A8年度末整備完了、供用開始予定だ。

Q高柳駅と沼南庁舎をつなぐまちづくりでは商業施設を含めたトライアングル構想が望ましいと考える。市の考えは、

A交流交通軸の整備が重要と認識している。

Q藤ヶ谷、藤ヶ谷新田地域の交通網の整備が遅れている。バス路線の整備は、

A路線バスの協議とコミュニティ交通を検討することで利便性の向上に努める。

社会教育行政(戸張城跡、湧水)

Q戸張城跡の文化財の保全整備は、

A自然と歴史、文化に触れることができる戸張地区で地域計画に基づく市民活動団体による文化財トレイルの取組などモデル的な取組に期待している。



手賀の丘公園(旧どんぐりの家)

柏清風

ふるかわ たかふみ
古川 隆史



フレイル予防について

Qフレイル予防ポイント制度について、フレイル予防は虚弱(フレイル)の状態にならないようにすることが目的であり、健康寿命の延伸等、本来の事業目的につながる何らかの効果があったのかどうか、またはこれから見込まれるかどうかについてしっかり検証していくことが重要であると考えが、

Aポイントが付与される活動に参加した結果、市民の生活習慣や健康状態に対し実際にプラスの効果をもたらしているかなど、制度及び活動の効果についてもデータから確認していくことが肝要だ。

今年度は市のフレイル予防事業と特定健診結果などの分析に、これまでもデータ分析アドバイザーという立場で協力を得ている東京大学高齢社会総合研究機構の

特任助教とともに分析に取り組んでいる。

選挙事務について

Q8月に行われた市議会議員選挙において、違反行為に対する警察からの警告は何件あったのか、また内容はどのようなものであったのか、

A選挙後、柏警察に警告件数を確認したところ、6月に7件、7月に19件、8月に8件の計34件の警告を行ったと聞いた。内容はのぼりの掲出に関すること及びビラの頒布に関することであった。

市民から違反に関する通報も多く、違法性が高いと思われる場合は柏警察署に情報提供をした。今回当委員会から警察に情報提供した件数は42件。ビラに関するものが9件、選挙カーによる連呼行為に関するものが8件、街頭演説に関するものが6件であった。

柏清風

やまだ かずひと
山田 一



柏駅周辺のまちづくり

Qそごう跡地買取と建物解体の進捗は、

A現在建物については解体することを前提に解体を行う実施主体、あるいは解体の範囲などについて、所有者と調整、協

議を進めている。

少子化対策

Q児童手当政策の実現見通しを問う、

A支給対象を高校生まで拡大し、全ての児童の養育者がその所得にかかわらず、



北柏駅南北自由通路整備事業

現在、北柏駅から新設する北口駅前広場への接続ルートがなく、ベビーカー・車椅子等の利用ができない状況のため、円滑に移動できる環境を整えることを目的として、新しい自由通路を整備する事業



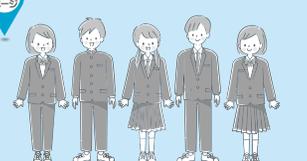
小中一貫教育(校)

小学校と中学校が、目指す児童生徒像を共有し9年間を通じた教育課程を編成して系統的な教育を目指す教育(学校)のこと



ブレ標準制服モニター制度

希望する生徒に「ブレ標準制服(サンプル品)」を無償で配付し、「制服の見直し」について、生徒自身がモニターとなり参画する制度



ゼロ歳から2歳までの児童については月額1万5,000円、3歳から18歳までは月額1万円支給、さらに多子世帯には第3子以降は月額1万5,000円から3万円に増額とされる。実施の具体的な時期について現時点で国からの通知等は届いていない。国の動向を注視し必要経費を計上し市民への周知に努める。

Q こども誰でも通園制度の実行見通しについて問う。

A 就労要件を問わず全ての子育て世代が保育所などを利用できるようになる制度で、こども家庭庁が検討会を立ち上げた

ところであり令和5年12月に中間取りまとめ、令和6年3月に全体の取りまとめ予定となっている。市としても同検討会の動向を注視し必要な準備を行う。

高齢社会対策（多死社会）

Q その後の火葬場対策について問う。

A 令和4年10月に1日当たりの火葬件数は21件から24件へと増加させたが、平均稼働率は100%に達する状況である。構成3市（我孫子・流山）と事務組合とで協議を行っているが待ち日数の短縮に向けた取組として、1日当たりの火葬件数の増と友引による開場日の増加を検討している。

公明党

おがわ ゆりこ
小川百合子



HPVワクチン（知+）について

Q キャッチアップ接種（知+）期間が過ぎ、全額自己負担となるのは重要な検討材料となるため、本人、保護者に確実に伝えてもらいたいでしょうか。

A 令和6年最終年度にも個別通知を送っていく。読まれた方が接種したいと思われるように、中身についても十分検討していく。

動物愛護について

Q 東葛地域獣医師会との協定締結で今後の獣医師との連携についてはどうか。

A 発災時には東葛地域獣医師会へ動物救護活動に関する支援要請を行うことが可能となる。

AEDについて

Q AED使用時の女性への配慮について

三角巾を配備してもらいたいでしょうか。

A 今後三角巾とその使用方法を表記した説明書を配備する方向で進める。

水道料金減免について

Q 明細に減免について記載すれば市民に分かりやすいと思うがどうか。

A お知らせ文書を工夫するとともに、検診票の備考欄を活用するなど分かりやすい周知に努める。

大津川改修工事について

Q 河川改修工事の進捗と今後の効果について問う。

A 今年度、上大津川7号橋の架け替えに伴う橋台2基及び護岸の整備を予定している。来年度までに2か所の橋梁工事が完成することで河道が拡幅するため、浸水被害軽減が期待できる。

公明党

こまつ さちこ
小松幸子



（仮称）子ども・子育て支援複合施設

Q 9月補正予算である、子ども図書スペース及び中高生世代の居場所整備について、子ども自らが相談できるコーナーの整備計画については。

A 中高生の特性を踏まえた適度な距離感を取りつつも、子どもたちのサインを見逃さないようスタッフの配置や育成に留意する。必要に応じて、専門的な相談機能や中高生の多様な悩みに寄り添っていくよう、関係部門等とも連携を図る。

市立柏病院送迎バス

Q 高齢化により、今後車の免許返納が進

められていくと考えられる。市立柏病院送迎バスの考えは。

A 現在、市立柏病院独自の送迎バスを運行する計画はないが、今後の課題として病院運営者である柏市医療公社と検討していく。

公共交通空白不便地域（知+）対策

Q 来年予定の柏ビレジ自治会が運営するコミュニティバスの持続可能な運行への市としての支援は。

A 柏ビレジ自治会による要望書には、事業が軌道に乗るまでの3年間、市からの経済支援として補助金の要望がある。関係者との調整を行い、必要な移動手段導入に向けサポートしていく。

体育館空調整備

Q 中学校21校の体育館空調整備については。

A 今年度は全中学校の設計を行い、令和6年度中に全21校の設置工事を行う予定である。



市立柏病院

公明党

はやし しんじ
林伸司



医療的ケア児者への支援

Q 人工呼吸器やたんの吸引器などの機器類は停電時には活用できない。停電時でも活用できるよう非常用電源装置購入への支援が必要ではないか。

A 医療的ケア児者とは、日常生活を営む

ために、恒常的に人工呼吸器による呼吸管理や咳たん吸引を含めたその他の医療行為を受けることが不可欠な方のことである。本市において、非常用電源装置の購入支援制度については、障害当事者団体からも御要望をいただいている。これ

を踏まえ、災害時の電源を確保するためのどのような支援を求めているかの精査を行い、当事者の声を聞きどのような施策が有効か検証する必要がある。御意見のとおり、災害時の対応は喫緊の課題と認識しているため対応策について検討を進めていく。

市立柏高校の不登校支援

Q 文部科学省も今後オンライン授業、遠

隔授業での単位取得を、全てではないが認める方針である。仮にオンライン授業ができないにせよ、動画を視聴してレポートを作成する、このような形態でも遠隔授業に含まれるとしている。こういった環境を整えて不登校支援を行うべきだ。

A おっしゃるとおりである。文部科学省の方針を受けて、来年度本格的に進めていければと思っている。

日本共産党

たぐち やすひろ
田口 康博



防災対策について

Q 地震から命を守るには、まず、丈夫な建物が求められる。市内の家屋の耐震診断、耐震改修の現状はどうなっているか。もし、少ないと認識しているのであれば、その改善策とは何か。

A 市内の住宅の耐震化率は約92%となっている。

市ではまずは7年度までに住宅の耐震化率95%の目標を定めて進めている。市内の方に耐震化の必要性を周知し、必要に応じて助成制度の見直しを行いながら、促進を行っていきたくと考えている。

農業振興と給食について

Q 全国的に広がりを見せているオーガニック給食について本市の取組の現状と今後の方針を問う。

A まずは有機農産物の中でも取り組みやすいと言われる有機米についての検討を行うため、本年8月いすみ市及び木更津市を視察し、その取組状況や課題、対策などについて確認してきた。今後は、学校給食における有機米の使用をテーマに、担い手の確保や給食費を圧迫させない仕組みづくりについて、農政課とともに研究を行っていく。

日本共産党

むとう みつえ
武藤美津江



物価高騰対策

Q 9月補正の予算では運送業に対して支援を行うとのことだが、運送業だけではなくガソリン代を含めて中小企業支援金の第2弾をぜひ行ってほしいがどうか。

A 物価上昇の動向や国の動向、そういったものを踏まえて引き続き検討していく。

マイナ保険証

Q マイナ保険証のない人には資格確認証を発行するというが、本市の事務負担は、どのくらいになるのか。

A マイナ保険証と資格確認証に関する事務のほか、当面の間は従来の紙の保険証も継続して管理することになるため事務負担は増加する。

Q 医療機関の6割でトラブルが起きている。医療機関のトラブルについて把握しているのか。

A 医療機関におけるマイナ保険証に関するトラブルの調査については、国において必要に応じて行われるべきものと認識している。

補聴器購入費の助成

Q 耳の聞こえと認知症の関係にエビデンスが足りないなら、試行的に補聴器購入費助成を行って確かめたらどうか。

A 現状で助成制度を設ける考えはない。



日本共産党

わたべ かずこ
渡部 和子



柏駅周辺のまちづくり

Q 都市計画マスタープランの市民説明会の参加者は僅か13人。他市で実施している動画配信を検討することやランドデザイン（知+）の説明など市民に積極的に知らせる姿勢に欠けていたのではないかと。

A 動画で見ていただくことは検討内容に入っていなかった。また、ランドデザインの周知方法は工夫していきたい。

公共交通の在り方

Q 交通空白不便地域（知+）の西原地域について、どんな検討がされているのか。

A 西原地域についても3年度にアンケート調査を実施している。現在作成中の手引書を活用いただき、地域の移動手段導入をサポートできるよう取り組む。

Q 江戸川台駅から柏の葉キャンパス駅に向かうバスの便数を増やすよう、バス事業者へ申し入れてほしいがどうか。

A 近年、ドライバー不足が続いていると聞いているが、各地域の移動需要に合った便数を確保するよう要請していく。

近隣センターのバリアフリー

Q 大規模改修を待たず各近隣センターのエレベーター、手すりの設置段差の解消等の実現可能性調査を行うのはどうか。

A 各近隣センターの実情に応じた実現可能な対応を検討していく。



エレベーターが設置してある南部近隣センター



HPVワクチン

HPVへの感染を防ぐことで、子宮頸がんの罹患を予防するためのワクチン。子宮頸がんの原因の50~70%を占める2つのタイプ（HPV16型と18型）のウイルスの感染を防ぐ

キャッチアップ接種

HPVワクチンの積極的勧奨が差し控えられている間に定期接種の期間が過ぎてしまった方の接種機会を確保するため、従来の定期接種の対象年齢を超えて接種機会を確保する取組



公共交通空白不便地域

鉄道駅や路線バスの停留所といった公共交通機関の発着場所から、一定以上の距離がある地域

ランドデザイン

柏アーバンデザインセンター（UDC2）が公民連携の下、取りまとめた、中心市街地の20年後の将来像を描いた基本構想

日本共産党

ひらの こういち
平野 光一



歴史修正主義にどう向き合うか

Q 関東大震災後に起きた朝鮮人、中国人、社会主義者などの虐殺事件から100周年。政治的な意図を持って歴史を書き換えようとする歴史修正主義を排して、歴史的事実に真つすぐ向き合なればならないと考えるが市長の見解はどうか。

A 様々な資料を基に正確に把握し認識していくことが重要で、ロシアのウクライナ侵攻など痛ましい出来事が起きているときだからこそ、恒久平和実現のため正確な歴史的事実を後世に伝えていくことが私たちの責務だと考えている。

学校給食の完全無償化を求める

Q 来年度から学校給食費の完全無償化を実現すべきだがどうか。

A 完全無償化した場合の約17億円の財源確保が大きな課題。国や県、近隣自治体の動向を注視しつつ、本市の財政事情を踏まえ総合的かつ慎重に検討していく。

1,400人規模の小中一貫校^{知+}

Q 小中一貫校はどこで検討してきたのか。文科大臣が「統廃合が前提ではなく、よりよい教育環境整備という教育的視点が重要」と答弁している。同じ認識か。

A 市教委内部の検討会で調査研究を進めてきた。市教委もよりよい教育環境確保が何より重要であると認識している。

みらい民主かしわ

いとう まこと
伊藤 誠



地域部活動

Q 地域部活動の予算と今後の運営の展望について伺う。

A 5年度当初予算額は3,165万円となっている。運営に関しては、一般社団法人柏スポーツ文化推進協会が主体となっており、その参加費用は年間費5,000円と月会費2,000円となっている。今後の展望については、学校での指導経験がある指導員を優先して登用している。また、休日の活動については全てを民間に移行することを目標としているが、現時点においては大会の出場要件が学校部活動に限定しているものもあるため、全てを移行していくまでには一定の期間が必要である。

地域の課題

Q 柏市高田熊野神社坂下の丁字路の今後の安全対策に向けた取組は何か。

A 本市ができる対策としてドライバーへの注意喚起の路面標示を施している。また、横断歩道と信号機の設置を改めて柏警察署に要望していく。

Q 柏市高田緑地のバスケットリング老朽化の修繕についての取組は何か。

A バスケットリングの修繕及び日常管理に努め、利用促進を図っていく。



高田緑地のバスケットリング

みらい民主かしわ

ながやま ともひと
永山 智仁



期日前投票所

Q 投票率の低下に歯止めをかけるためにも、大型商業施設内をはじめ、期日前投票所を増設していくことが望ましいが、どう考えているか。

A 投票率の向上に向け、今後も市民が多く集まる対応可能な商業施設等があれば設置を検討していく。

最低賃金の改定に向けての取組

Q 10月の最低賃金改定に伴い、労務費の上昇に対して適切に価格転嫁ができる環境をつくるための本市の取組は。

A 商工団体と連携し、経営上の課題を相談できる無料の専門家相談事業を展開し

ている。最低賃金の改定に向けた市内事業者の取組を支援していく。

障害者雇用

Q 市内中小企業における障害者雇用促進にむけた本市の取組は。

A 柏市自立支援協議会^{知+}はたらく部会と連携し個別相談会を実施している。事業所の障害者雇用に対する意識改革や雇用する上でのスキルアップを図っていく。

防災・減災対策

Q 本市における災害発生時の情報共有体制はどのようになっているか。

A 4月に情報管理システムを導入し、一元的な管理が行えるようになっている。

みらい民主かしわ

すずき せいじょう
鈴木 清丞



グラウンドゴルフの利用料金について

Q 大津ヶ丘中央公園野球場でグラウンドゴルフをすると、利用料金が2時間で3,290円と高額となる。生徒割引980円と同等な高齢者割引を新設してはどうか。

A 全てのスポーツ施設で受益者負担率の目標水準に達していない。新たな割引制

度の導入は他市も参考に研究したい。

Q 他のゲートボール場の利用料金は2時間440円となっている。野球場でグラウンドゴルフをやる場合も他と同様の440円としたらどうか。

A 本来の利用への影響がないよう慎重な検討が必要と考えている。



グラウンドゴルフの様子 (写真はイメージ)

柏駅のエレベーター設置について

Q 柏駅東口改札そばへのエレベーターの設置と柏駅南口西側にエレベーターを設

みらい民主かしわ

おかだ ちか
岡田 智佳



保育士確保のための対策

Q 人員不足の上、事務作業が負担という声が多い。事務作業の見直しなど、もっと現場の声を取り入れてほしいが。

A 園長、副園長会議で、現場の声が取り上げられていると考える。

高齢者の外出支援

Q 市川市のように75歳以上の市民にバス、タクシーの補助券を発行し、外出を促す取組を検討してはどうかか。

A 状況などを注視し、参考にしていく。

カシワニクルのエリア拡大

Q 利用者のニーズと一致していないという声を伺う。複数駅への乗り入れを検討してほしいがどうか。

A 既存の公共交通の影響や事業者の意

見を考慮し、検討してきた経緯がある。

路線バスの減便対策

Q 大阪府南部では、バス路線廃業の危機にある地域がある。本市でも、早目に対策を講じるべきだと考えるが。

A ドライバー確保の要請と併せ、事業者から要請があった場合は協議していく。



時代に即した消防団の在り方

Q 消防操法大会^{知+}は、負担が大きいと、以前取り上げた。その後、本市の対応は。

A 実施方法を見直し、出場分団を42隊から11隊に変更した。協議を進めていく。

市民サイド

わかさ ともひろ
若狭 朋広



しいの木台にある都市計画道路の用地グリーンベルトの草刈りについて

Q 当該用地は、本市が松戸市に貸している区画と、本市「日の出町会」の敬老会「しいの実会」に貸している区画があり、それぞれグラウンドゴルフのプレイ場として主に各敬老会が利用している。

松戸市は環境保全課の「草刈り班」が、草刈りを年3回行っているが、本市の対応はどうなっているか。

A 道路占用許可申請を経て占用料を徴収していないため草刈りはしいの実会が行うこととしている。

Q 昨年9月に草刈りを行っていた70歳男性が救急搬送された事もあり、今年の3月にしいの実会から草刈りの要望があったがどのように回答したか。

A 全体の草刈りが厳しければ、草刈りの場所を減らしてみることも可能だと回答した。

Q 今年の5月に近隣住民から市役所へ草

埃や砂埃に関する苦情があった。どのような対応をしたか。

A 刈り草や砂が飛んでくるという苦情があった。それをしいの実会に伝えた。

Q 当該用地を松戸市は天地返しという手法で除染を行った。しいの実会が使用する用地については除染を行なったか。

A 除染を行なった記録はない。

Q 道路占有許可申請は1年更新であるが現地の確認はどのように行っているか。

A 図面などから確認している。

Q 安全面の確認はどうしているか。

A 敷地はフェンスで囲っている。



しいの木台にある都市計画道路用地 (グリーンベルト)

市民サイド

はやし さえこ
林 紗絵子



コロナワクチンの副反応被害

Q ウイルスの変異に伴い新型コロナの致死率は下がり、高齢者の重症化率や致死率がインフルエンザ以下となったため5類感染症の扱いになった。現在流行のオミクロンXBB株はBA.5株と比較して更に重症度が低いと見られている。一方でコロナワクチンの副反応被害は増え、4月までに報告された接種後死亡事例は

2,076件に上る。8月までに予防接種健康被害救済制度^{知+}には8,887件申請され、審議されたうち86%の4,098件が認定されている。このうち210件は死亡例の認定だ。本市の状況は。

A 3年度は67件、4年度は3件の副反応報告があった。健康被害救済制度に合計27件進達し、通知された申請結果のうち認定は11件、否認が1件だ。



柏市自立支援協議会

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、相談支援事業をはじめ、障害者への支援体制の整備について協議される場



消防操法大会

消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、迅速、的確、かつ実践的な基本訓練を展開して火災防衛に万全を期することを目的とした競技大会



予防接種健康被害救済制度

予防接種に係る過失の有無にかかわらず、副反応による健康被害で予防接種と健康被害との因果関係が認定された方を迅速に救済する制度



男性へのHPVワクチン^{知+}接種の問題

Q 4価のHPVワクチンの効能効果に肛門がん及び尖圭コンジローマが追加され男性への接種が可能になったが、肛門がんは極めてまれな上、治療法が確立する予後の良いがん。尖圭コンジローマはいぼのできる性感染症で自然治癒が多い。定期接種化や助成には公衆衛生上のメ

リットがない。一方でHPVワクチンは深刻な副反応が報告され、その頻度が他国の定期接種ワクチンより高いことが厚労省の公式データから明らかである。男性への接種助成に強く反対するがどうか。

A 男性への接種は現時点で予防接種法上、任意接種として位置づけられていることから助成を開始する予定はない。

無所属の会

すえなが やすぶみ
末永 康文

選挙

Q 選挙は民主主義の根幹であり31%の投票率では有権者向けの啓発や投票所の環境整備が必要である。手賀沼花火大会、柏まつりに5,000万円の税金が投入されている。この時期のイベントは外せないか。

A それぞれの実行委員会において引き続き協議し決定していく。

GIGAスクール随意契約2重投資問題

Q GIGA問題は損害賠償をする前に関係者の責任を明らかにすべきでは。

A 和解は本市の都合で解約した。

Q これまで2重投資で1億円も税金で支払い、更に1,800万円の損害賠償、その前に関係者の処分をするべきでは。

A 本市の都合で中途解約したもので支払うべきと判断した。

子育て支援

Q 本市は子育てしやすいまちをうたっているが、お出かけ時での、授乳やオムツ

交換する場所がない。一時預かりも困っているときに預けられない。おむつ交換場所も女性トイレの近くしかないなど、子育てしやすいまちとはほど遠いのはなぜか。

A 末就学児の一時預かり事業については、多様なニーズを踏まえ引き続き調査研究していき、おむつ替えと授乳ができる施設については、乳幼児が集まる場所で未登録の施設に登録のお願いなど子育てに優しいまちづくりに努めていく。



無所属の会

おがわ がく
小川 学

土日の議会開催

Q 柏市政に関しての最高意思決定権者は、柏市民である。その市民の約85%は会社員であり、普通の会社員でも容易に議会に参加できるようにするために、また市民の声を議会に反映させるためにも、土日の議会開催は必要と考える。

また、それによって現職議員は平日は市民と同様に他の仕事に就くことができるようになり市民目線な政策の議論ができ、議員報酬の削減も容易に実現可能になる。

これを実現するためには議会規則を変更する必要があることは認識しているが、土日の議会開催は執行部としては実施可能か。また、実施可能な場合には、そのメリット・デメリットとは何か。

A 土日の議会開催は、市民一人一人に寄り添った施策を実現するためには、その政策形成過程が市民に開かれたものであることが重要なことは認識しており、議会でもどのように審議されているかを市民の皆様を知っていただく取組の一つであると理解している。

また、国の地方制度調査会^{知+}において議員の成り手不足対策で、土日の議会開催をすることの検討を進めるべきとの答申が出されている。しかし、土日の議会開催については、地方自治法及び柏市議会会議規則の規定により定められており、まずは議会において議員の皆様へ御検討していただき、その決定には執行部としてできる限りの協力はしていく。

無所属

わたなべ ゆうじ
渡辺 裕二

市長の政治姿勢について

Q 「つづくを、つなぐ」を合言葉にした今後のまちづくりにおけるKPI（重要業績評価指標）^{知+}は何か。

A 達成度合いや評価が曖昧にならないように、複数の指標を設定して成果を確認しながら取組を進めていく。

経済産業について

Q 今後、市としてどのような戦略で企業誘致を行うのか。また、北部、中心市街地、南部など地域性をどう捉えるか。

A 柏の葉地区においては新産業創造、柏駅周辺は飲食やサービス、手賀沼や周辺

地域においては農商工連携や観光など、地域特性を生かした企業誘致を推進する。

柏の葉地区のまちづくりについて

Q 柏の葉地区で住民からの要望が多い



柏の葉駅周辺の航空写真

「近隣センター」、「図書館」の設置に関する検討状況、進捗状況はどうか。

A 近隣センターの設置に向けては複数の候補地について絞り込む作業を進めてい

無所属

きたむら かずゆき
北村 和之

AED屋外ボックス^{知+}

Q 当初から問題意識として公共施設約250か所、約400台のAEDは屋内設置で、閉館中や深夜に使用ができず24時間365日市民の命を救える体制を構築すべきと考えていた。全小中学校、市立柏高校、市民文化会館、中央公民館、ほのぼのプラザますお、道の駅しょうなん等に設置されたことは評価する一方で、設置の必要性や効果の高い、残りの21か所の近隣センターや大規模公園等へ一

日も早い設置を求めるが、方向性やスケジュールについてはどうか。

A 公共施設におけるAED屋外ボックス設置については、基本的な方向性として近隣センターをはじめ、未設置の公共施設に効果的かつ計画的に進めていく。併せて、6年度に向けた予算要求を行い、6年度から近隣センター等の設置から始め、おおむね3年をめどに公共施設の立地、用途などに考慮をしながら設置が完了できるように事業化を進めていく。

無所属

うちだ ひろき
内田 博紀

市長の政治姿勢について

Q 柏市議会議員選挙において「障害者議員がいると税金の無駄遣いになる」とした一部の有権者の考えは差別に該当するのではないか。

A 障害を理由に立候補を妨げるような言動や議員活動に係る財政負担がなされないということは、決して許されるものではないと考える。

Q 福田村事件の犠牲者に哀悼の意を表明してはどうか。

A 亡くなられた方々の命の尊さを思うと、

誠に心が痛むものであり、いかなる理由があつたとしても二度とあつてはならないことと認識をしている。市としては残念ながら起こってしまったこのような事件についても史実として残しているものである。

公共交通の利便性について

Q つくばエクスプレスの運賃値下げに係る働きかけを求める。

A まずは通学定期券の値下げについて沿線自治体と連携し、首都圏新都市鉄道株式会社へ要望する。

無所属

かみはし
上橋 しほと

市議会議員選挙と柏まつり・手賀沼花火大会の重複

Q 柏市議会議員選挙を1～2週間後に繰り下げられないか。

A 8月の中旬には帰省やレジャーに行かれる方が多くなることが予想され、投票率への影響が懸念される場所でもあり、総合的に判断して今回の選挙日程を設定した。

Q 柏まつり・手賀沼花火大会開催日を1

～2週間繰り上げられないか。

A 柏まつりの開催日は実行委員会で決定の上、従来通りの7月最終の土日とした。手賀沼花火大会もまた実行委員会で協議をし、開催日を8月第1土曜日とした。開催日程の変更については、影響を受ける関係者が多岐にわたるため慎重な検討が必要であると認識しているが、実行委員会における検討を持ちかけていきたい。

無所属

わたなべ くにひろ
渡邊 晋宏

地産地消の取組について

Q 今後の食育の計画について市の考えは。

A 食育の観点から地産地消、とりわけ農業体験活動については児童生徒が生産者や農作物に対する感謝の心を養い、豊かな五感と人間性を育むことができる重要

な取組である。農業体験活動の実施に当たっては、学校規模や立地場所の物理的な条件もあるが、その教育効果を踏まえると、可能な限り実施していきたいと考えている。

柏市と旧沼南町のごみ行政について

Q 柏市と旧沼南町の指定ごみ袋が別々、なぜ統一価格ではないのか。

A 指定ごみ袋統一について、令和6年4月からの実施に向けて準備を進めているところである。指定ごみ袋の統一から、おおむね1年程度は、これまでの指定ごみ袋も使える経過措置期間も設ける。価格については、店頭ごと自由に価格を決め、販売してもらうものであり、市内一律に販売価格を設定できるものではない。



児童生徒の農業体験活動

知+
地方制度調査会
内閣総理大臣の諮問に応じ、地方制度に関する重要事項を調査審議するため、総理府（現：内閣府）の附属機関として設置

知+
KPI（重要業績評価指標）
「key performance indicator」の略。目標を達成するための取組の進捗状況を定量的に測定するための指標

知+
AED屋外ボックス
AEDを外に設置する場合に使用する専用ボックス。ヒーターなどの温度調節機能が付いており、中の温度を一定に保つことに加えて、ケースが二重構造になっており、AED収納部分まで温度が伝わりづらくなる特殊な構造になっている